

# 公安委員会定例会議(第6回)の開催状況

- 第1 日時 令和8年3月4日(水)  
午後2時10分 ~ 午後4時02分
- 第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員  
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、  
刑事部長、交通部長、警察学校長、公安課長、通信施設課長、  
総務課長
- 第3 議事の概要
- 1 決裁事項
    - (1) 公安委員会定例会議会議録  
総務室から、令和8年第5回公安委員会定例会議会議録について伺い  
があり了承した。
    - (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答  
総務室から公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあ  
り了承した。
  - 2 報告事項
    - (1) 令和8年度警察職員採用募集活動  
警務部長から、令和8年度警察職員採用募集活動について報告があ  
った。  
委員から「高卒警察官試験区分への基礎能力型(SCOA)新設や、企  
業等合同セミナーへの出展は、社会人経験者にも警察官への間口を広  
げる効果的な施策である。引き続き広報活動を推進し周知に努めてほ  
しい」との発言があった。  
委員から「採用PR動画には、警察官の毅然とした姿だけでなく、  
優しさや志の高さなどもよく伝わる。リアルなプライベートを盛り込  
むなどより一層、効果的にアピールしてほしい」との発言があった。  
委員から「Webターゲット広告など、若者の時流に乗った広報を  
積極的に行い、警察官という職業を身近に感じることができるよう  
情報発信に努めていただきたい」との発言があった。
    - (2) 令和7年中の警戒の空白を生じさせないための組織運営に係る取組  
状況  
警務部長から、令和7年中の警戒の空白を生じさせないための組織  
運営に係る取組状況について報告があった。  
委員から「令和8年度の組織改編で、機動捜査分析課等の新設によ  
り、複数の業務を担う所属を統合することで、更なる警察力が向上す  
ることを期待する」との発言があった。  
委員から「職員からの提案制度は、業務の効率化、円滑化に繋がる  
有用な取組であると感じている。また、ワークライフバランスについ  
ては、数値目標にこだわることなく、職員が心置きなく休暇取得でき

るような職場の環境整備もお願いする」との発言があった。

委員から「ワークライフバランスの充実は、組織の強靱化に通じる非常に良い取組であり、中でも、男性の育児休業等の取得は、自らが、幼い大切な命に向き合うことで、警察官として人間力の向上に繋がるので、更なる取得促進をお願いする」との発言があった。

(3) 「伊予の『ぼちぼち運転』宣言」の開始

交通部長から、「伊予の『ぼちぼち運転』宣言」の開始について報告があった。

委員から「身体機能には個人差があるため、この施策は高齢者が自らの体調に向き合う良い機会になると感じる。高齢者による交通事故が減少することを期待する」との発言があった。

委員から「気象環境や体調に応じて、安全な運転方法を採用することを自ら宣言することは、周囲の意識改革にも繋がる。県下全域への普及促進を図っていただきたい」との発言があった。

委員から「高齢運転者による交通事故が高い水準で推移する中、交通事故防止に向けた意識啓発は重要である。広報活動をしっかりと行ってほしい」との発言があった。

(4) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

以 上